

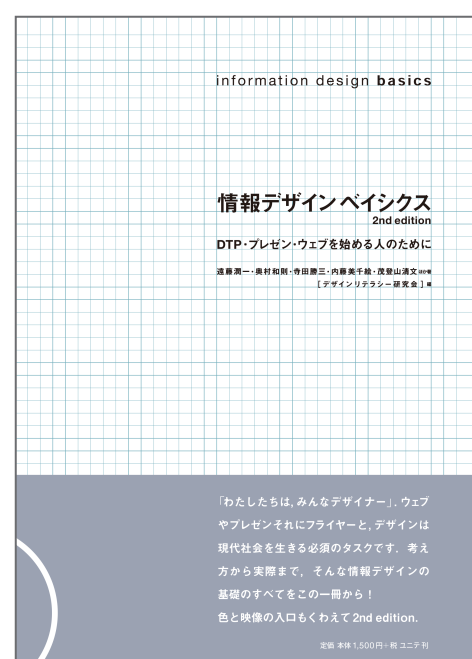
茂登山研究室 vision lab

デザイン, 写真, アート, ヴィジュアルリテラシー, 電子ネットワーク社会の視覚性
design, photography, art, visual literacy, visibility in the electronically networked society



社会システム情報学専攻

デザインとヴィジュアルリテラシー | design and visual literacy



電子ネットワーク社会における視覚文化への興味を基本に, ヴィジュアルリテラシーの輪郭を描きつつ, 視覚を通した思考と発見のためのシステムとインターフェイス, そのプラットフォームを構想, 開発, デザインする

We consider, develop and design system, interface and platform to think and notice through visuals, describing a framework of visual literacy with academic interests about visual culture in the electronically networked society

| 茂登山他編著『情報デザインベシクス』

おもな研究 | research subjects

I. データジャーナリズムと科学のビジュアリゼーション visualization of data journalism & science

データジャーナリズムのビジュアリゼーションでは, 表現の自由度の保証と開発生産性の向上がもとめられる. ビジュアルプログラミング言語によって, 情報視覚化手法を提案する. また, サイエンスイラストレーションにおける課題についても取り組んでいる.

II. 文化資源とイメージリトリバル art resource & CBIR

名古屋大学の構内には多くの文化資源がある. その資源を活用することを目的に, 筑波大学, 九州大学と連携しつつ, システム開発とデザインを分担している. 同時にその基本となるイメージリトリバル技術とそれを補完するイメージリテラシーのあり方について研究している.



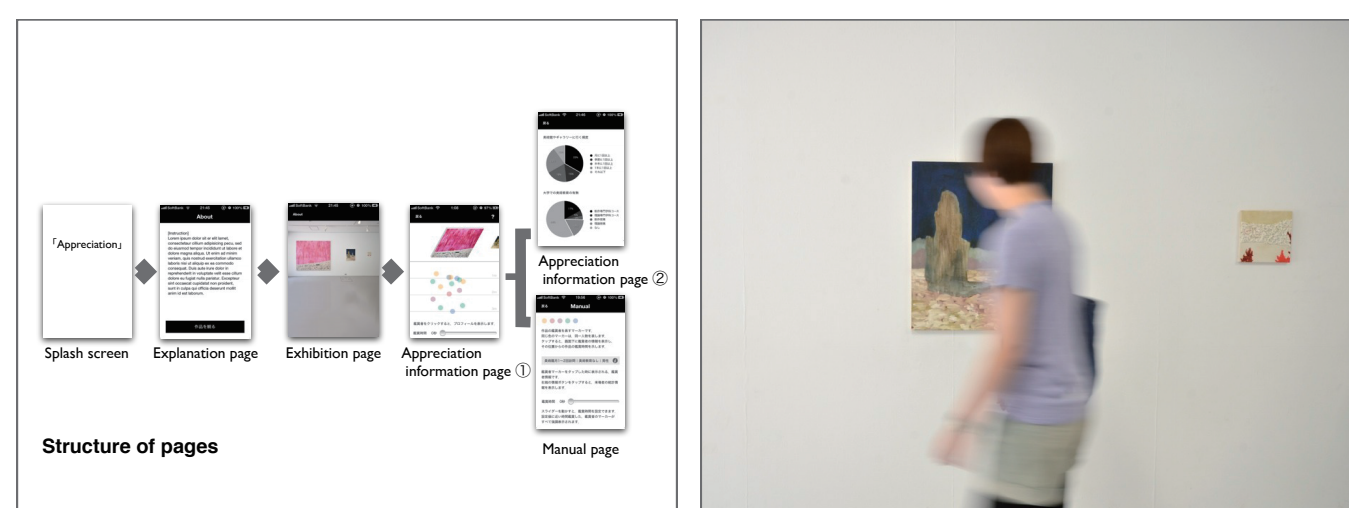
“Art Resource at Nagoya University” |

III. インタラクティブなデジタルサイネージ interactive digital signage

大学では, デジタルサイネージは, 他の伝達メディアであるポータルサイトなどによって, その掲示機能をうしないつつある. そこで, 多くの大学に設置されているサイネージについて, 学生間コミュニケーションなどの視点から, そのあらたな機能を提案, 実装する.

IV. 作品鑑賞支援 support for appreciation of art works

現代の美術作品を理解することは, 簡単なことではない. 美術館やギャラリーにおいて, 作品鑑賞の経験が多くない来館者に, 知識の伝達ではなく, 気づきと理解を深める契機となるような支援システムを, ICT を活用して開発, デザインしている.



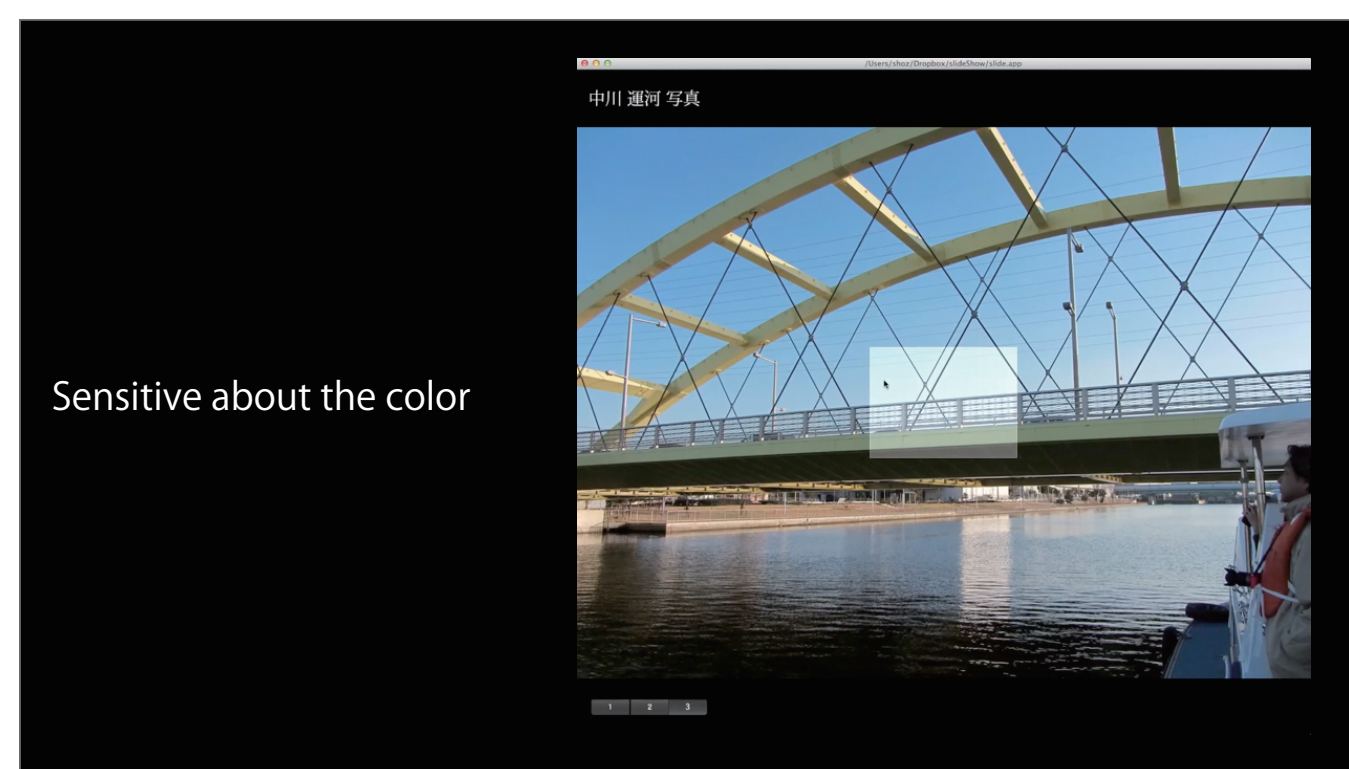
System to support art appreciation
by sharing information of viewers' behavior and profiles |

V. ヴィジュアルリテラシーと空間性 visual studies- visual literacy & spatiality

欧米ではヴィジュアルリテラシーの研究が長い歴史をもっていて, 高等教育でも, その基準も定められつつある. イメージについての理解と制作にとどまらず, 空間との関わりに注目し, 風景と視覚とのインタラクションについて考察している.

VI. 多様なメディアを介した写真によるリテラシー literacy & photography through various media

写真は, もっとも身近な視覚メディアとして, 電子社会に溢れている. ウェブ, サイネージ, 雑誌や新聞, 書籍など多様な流通媒体のなかで目にする写真について, インタラクティブなスクリーン, AR による空間の再体験等のシステム開発を通して, そのリテラシーのあり方を研究している.



12月4日 2016 日 火曜日
Rely on a sense of "somehow similar", the user can click the anxious part of the photograph.
By experiencing the slide show, user will be sensitive about the color.

研究室のメンバー | lab members

教員 1 名, 博士後期課程 2 名, 前期課程 8 名, 交換留学生 1 名, 研究生 2 名, 情報文化学部学生 5 名
男 7 名 + 女 11 名, 留学生 5 名 (韓国, 中国, スペイン), 海外留学中の学生 3 名 (共 19 名)

関連する活動 | related activities

I. FH ヨアネウム大学との共同研究 colabolation with F.H.Joanneum University of Applied Sciences

国際デザインセンターとともに, 名古屋とともにユネスコのクリエイティブ・シティであるオーストリア, グラーツの FH ヨアネウム大学と, 展示デザインの共同研究をすすめている.

II. 文学研究科附属「アジアの中の日本」研究センター (前 日本近現代文化研究センター) への協力 collaboration with Japan-in-Asia Cultural Research Center of Graduate School of Letters

センターの協力教員として, 機関誌『超域的日本文化研究 JunCture』の編集とデザインディレクションなどを担当している.

III. 教養教育院プロジェクトギャラリー「clas」の運営 direction of Project Gallery 「clas」 of Institute of Liberal Arts & Sciences

「視覚を通した複眼的な思考と総合的な知識の育成, 地域を視野に入れた文化の向上に資すること」を目的とする教養教育院の共用施設, プロジェクトギャラリー「clas」の運営に関わっている.

IV. 全学教育における芸術系授業の世話 support for art classes of general education

名古屋大学における芸術教育の充実をめざして, 全学教育で開講されている芸術系講義 10 コマと, 芸術制作をテーマとする基礎セミナー 4 コマのサポートをおこなっている.

V. 「中川運河写真」プロジェクト project “Nakagawa Canal Photography”

ヴィジュアルリテラシー研究のフィールドとして, 名古屋の景観資産である中川運河で, 写真集の編集, ワークショップの開催, アートイベントの支援等をおこなっている.

写真集「中川運河写真」企画・編集 |



VI. デザイン | カフェ design|cafe

デザインについて, さまざまな分野のゲストを招き, 専門と素人の垣根をこえた形で話し合う場をつくっている. 不定期で開催していて, 会場となるカフェについてもデザインの視点で選んでいる.